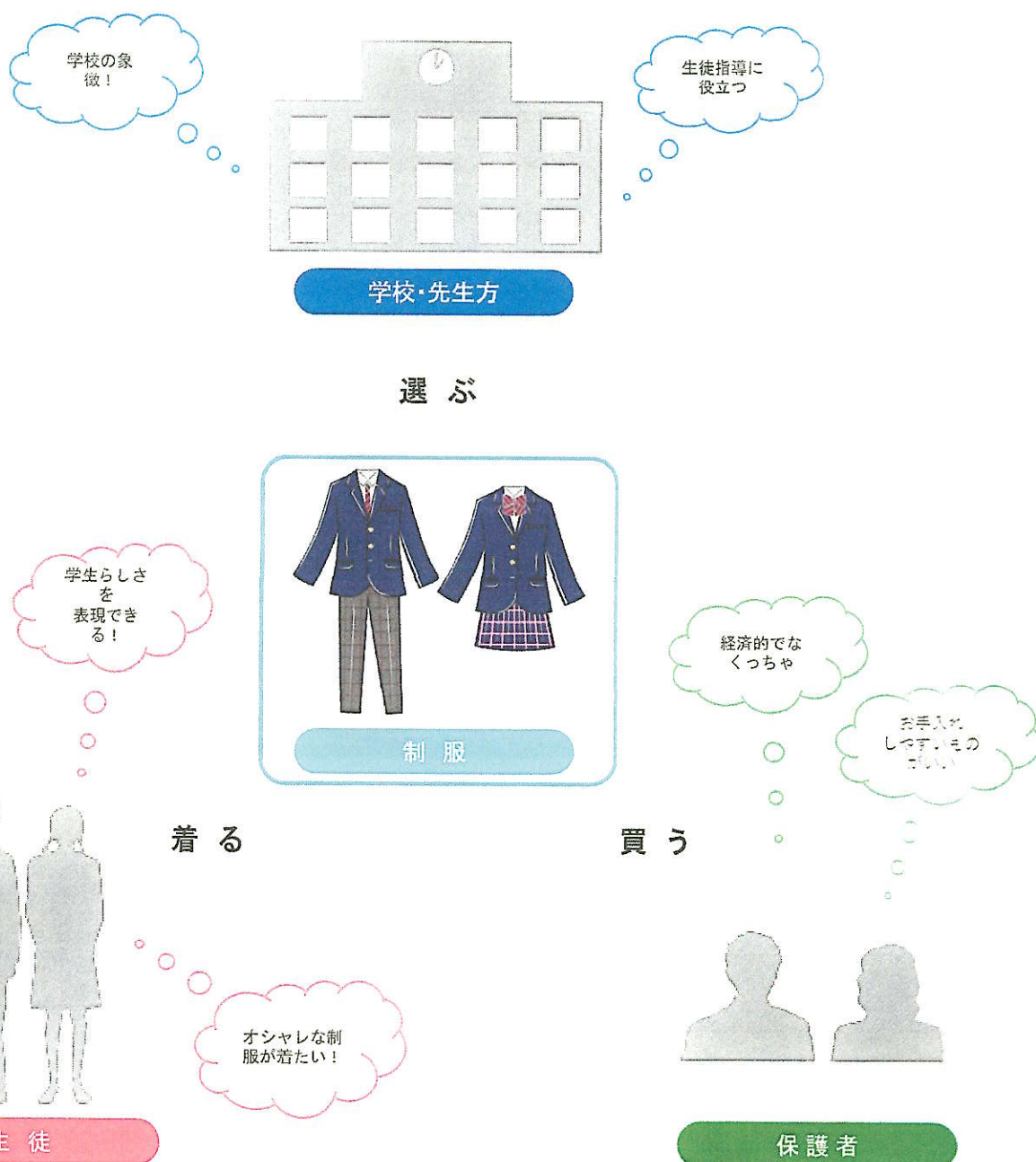


制服のモデルチェンジにあたって

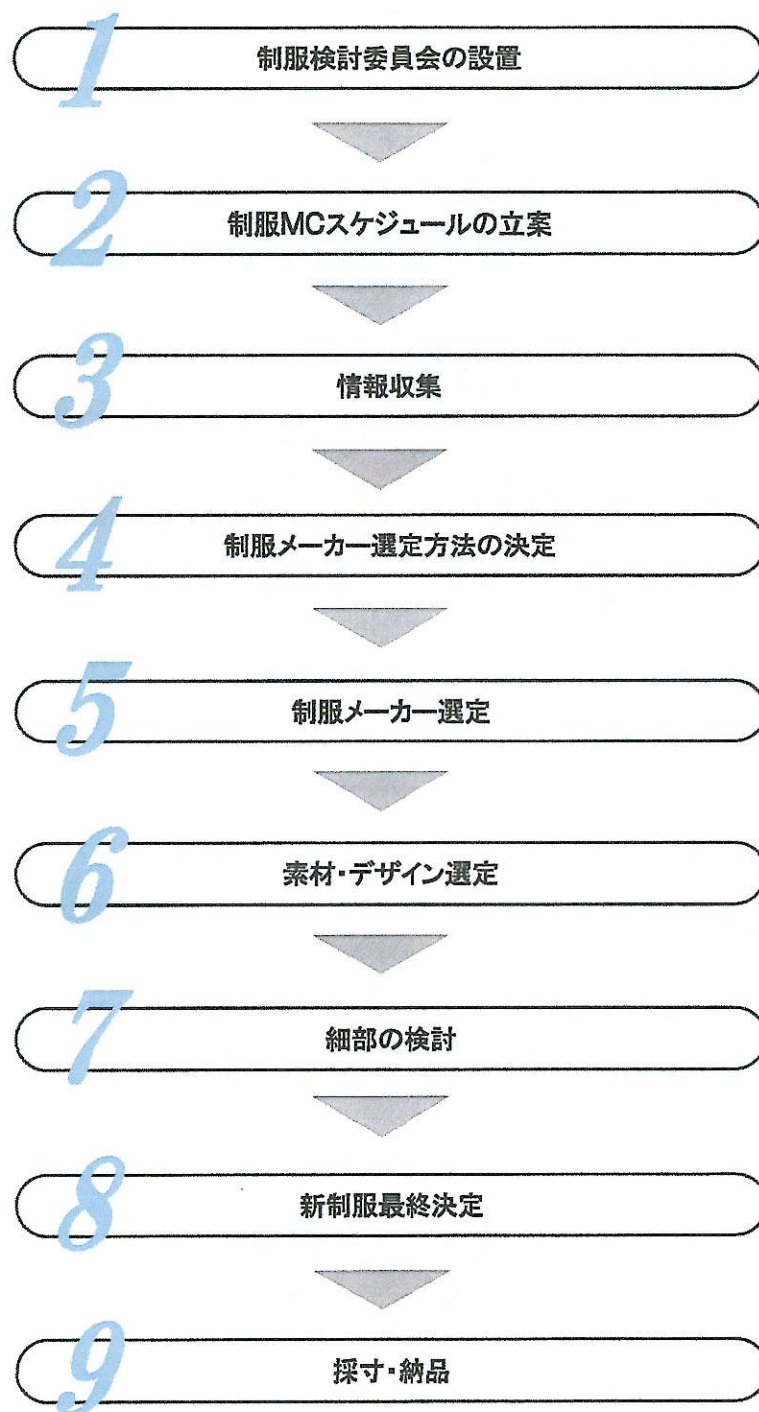
制服をモデルチェンジすることは先生方にとってかなりの時間と労力が必要なことです。またモデルチェンジしたからといって、学校の象徴としてイメージアップにつながるとは限りません。ここでは時間と労力を無駄にせず、失敗しないモデルチェンジの方法をご紹介します。

制服は学校(先生方)が選び、保護者が購入し、生徒が着用するものです。
制服をモデルチェンジする際には、この3者のニーズを把握することが重要です。
私どもは、あらゆるノウハウを駆使し、3者が満足できる制服づくりのお手伝いをさせていただきます。



モデルチェンジの流れの把握

制服をモデルチェンジするにあたって、やらなければならないことは沢山あります。
まずは、その「やらなければならないこと」の全体像を把握することが大切です。
ここからは、モデルチェンジの流れに沿ってご紹介していきます。



制服検討委員会の設置

モデルチェンジが決定し、検討し始めるにあたって「制服検討委員会」を設置するのが一般的です。検討委員会は先生方で構成されるケースがほとんどですが、最近では生徒代表やPTAが加わる場合もあります。

制服検討委員会について

○一般的な検討委員会の構成は以下の通りです。

- ・男性・女性の先生方5名前後で構成
- ・家庭科の先生が委員会に入るケースが多い
- ・業者窓口は1人の先生が担当

Point!

検討委員会の構成は、より広い視野から検討できるように配慮しましょう。

制服検討委員会の役割

○制服に関する調査、検討の全てを行います。

スケジュールの決定

情報収集

制服メーカー選定
方法の決定

デザイン、素材、
アイテムの決定

○制服販売店、メーカー、保護者との窓口になります。

- ・内外に向けての発表
- ・業者への通達

制服改定スケジュールの立案

検討委員会が設置されたら、制服改定のスケジュールを組み立てます。
「いつまでに」「何をするか」を明確にすることで、制服改定を
スムーズに進行することができます。

下の表は、一般的な制服改定スケジュールの一例です。
さらに細かいスケジュールは別紙に案としてご用意しておりますので、ご参照下さい。

時期	項目	検討内容
R6年 4月～10月	基本方針検討期	・制服検討委員会の設置 ・スケジュールの立案 ・情報収集 ・制服方向性の設定 ・制服指定メーカーの選定
R6年 11月～ R7年4月	デザイン検討期	・素材選定 ・デザインの選定(夏服の検討) ・附属品・細部検討 ・最終サンプルによる総合検討
R7年 7月～8月	プロモーション期	・新制服発表 (授業参観・学校展示等)
R7年 9月～11月	規定作成期	・決定内容規定書の作成 ・販売指定店の選考
R6年 12月～ R7年3月	納品・販売期	・販売／受注に関する打ち合わせ ・採寸 ・制服の納品

Point!

スケジュール立案のポイントは、『いつまでに』。
「学校祭の際に新制服を発表する」など、
明確な行事予定を設けると進めやすくなります。